

岩手県立久慈工業高等学校



創 立 昭 和 5 5 年 4 月 1 日

開 校 記 念 日 毎 年 5 月 4 日

所 在 地 〒 0 2 8 - 8 2 0 1 岩 手 県 九 戸 郡 野 田 村 大 字 野 田 第 2 6 地 割 6 2 番 1 7

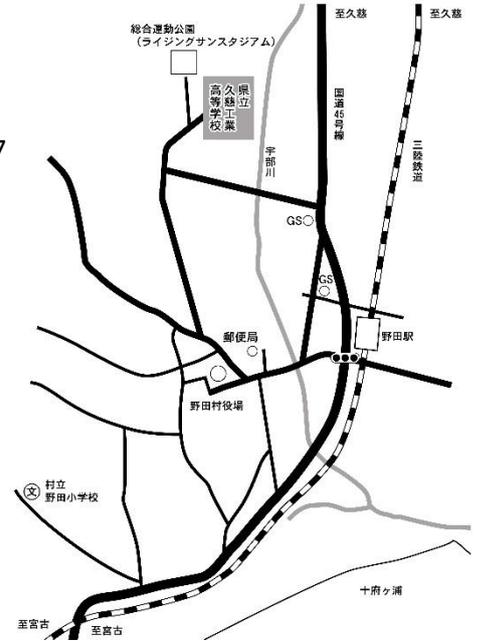
電 話 番 号 0 1 9 4 - 7 8 - 2 1 2 3

F A X 0 1 9 4 - 7 8 - 4 1 9 0

H P <http://www2.iwate-ed.jp/kut-h/>

交 通 機 関 三 陸 鉄 道 北 リ ア ス 線 陸 中 野 田 駅 下 車 徒 歩 1 5 分

校 長 名 高 橋 一 佳



1 設置学科等

課程	学科名	設置年度	平成30年度生徒数		
			1年	2年	3年
全日制	電子機械科	平成4年	17名	19名	8名
	建設環境科	平成19年	29名	23名	29名

2 本校の目指す学校像

本校は、工業教育を中心に、部活動、学校行事、資格取得など充実した教育活動をとおり、「元氣な挨拶と思いやりを心がけ、心身を鍛え合う生徒」を育て、生徒一人一人に力を付ける「生徒の輝く姿が見える楽しい学校」を目指しています。

3 平成31年度の入学者選抜方法について

平成31年度の募集定員や選抜方法などは、平成30年10月に確定します。

(1) 推薦入学者選抜方法 (平成30年度)

学科名	全学科 (電子機械科・建設環境科)	定員	各科40人
募集定員	各科定員の10% (各科4人)		
推薦基準	<p>次の1～4の条件を満たした上で、5または6の条件に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 本校の教育を受けるに足る能力・適性をもつ者 基本的な生活習慣を身に付けている者 志願理由が明確かつ適切であり、入学後の意欲的な高校生活が期待される者 ものづくりへの興味・関心が強く、工業に関する機械操作や製作実習に意欲がある者 次のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> スポーツ活動 : 県大会出場または地区大会3位以上の成績で主力選手として活躍した者、または、それと同等の実力が認められる者 文化・芸術活動 : 県大会出場、各種コンクール入賞等の実績がある者 生徒会活動 : 生徒会役員、各種委員長を務めた者 ボランティア活動 : 継続的に活動した実績がある者 資格 : 資格等を取得している者 (例: マチア無線技士、危険物取扱者、漢字検定、英語検定) <p><本校にある部活動></p> <p>運動部: 硬式野球、ウエイトリフティング、ソフトテニス、ラグビー、バスケットボール(男)、卓球、柔道</p> <p>文化部: 吹奏楽、美術、料理、工学研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 岩手県スポーツ特別強化指定種目であるウエイトリフティング部に入部し、3年間活動する強い意志をもち、次のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> 運動部に所属し、県大会に出場し主力選手として活躍した者 新体力テストの成績がA段階である者 現在「いわてスーパーキッズ」に認定されている者 <p>なお、5・6は応募資格Aに該当する</p>		
検査内容	<ol style="list-style-type: none"> 面接 個人面接 (10分) 作文 600字以内 (50分) 提示されたテーマについて自分の考えをまとめる 		

選抜方法	1 調査書（180点）：9教科の評定合計（1年45点、2年45点、3年90点） 2 実績（170点）：調査書及び志願理由書に記載されている実績 3 面接（50点） 4 作文（50点） <合計450点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する。
一次選考の有無	実施しない

（2）一般入学者選抜（平成30年度）

学科名	定員	面接方法	選抜順序・割合（%）			作文	適性検査	傾斜配点
			学力検査：調査書・面接					
			I	II	III			
電子機械	40名	個人	A70	C30		無	無	無
建設環境	40名	個人	A70	C30		無	無	無

4 特色ある教育活動

（1）学習活動

- ア 電子機械科、建設環境科ともに充実したコンピュータ設備等のもと 実習・製図・課題研究など多様な授業により生徒個人の適性・能力を伸ばします。
- イ 2年生では、久慈管内企業での3日間にわたる就業体験（インターンシップ）を実施し、職場体験をとおして職業観を育成し、将来の進路の決定に役立てます。
- ウ 3年生では、個々の進路目標実現を目指し、進路希望に対応する選択授業及びコース制を実施します。
電子機械科では3年生から「機械設計・自動車工学」または「電子回路・電子計測制御」の科目を選択して学習します。
建設環境科では2年生から「環境土木コース」または「建築コース」を選択して各専門分野を学習します。
- エ 各科の特色を生かして、各種資格や検定の取得に力を入れています。（パソコン利用、土木施工管理技術、測量士補、建築施工管理技術、危険物取扱者、計算技術、漢字能力、英語技能など。）



（2）特別活動等

文化祭（久慈工祭）や校内体育大会を実施しています。運動部は、野球部、ラグビー部、ウエイトリフティング部、卓球部、ソフトテニス部、柔道部、バスケットボール部があり、特に、ウエイトリフティング部はインターハイ、国体等の全国大会で入賞者を多数輩出しています。文化部は、美術部、吹奏楽部、料理部、工学研究部があります。

また、太陽光発電設備もあり学校で使用する電力に使用されているほか課題研究等の授業などの環境教育に役立っています。



5 校長からの一言

本校は今年度創立39年目を迎え、これまで工業教育を中心に様々な教育活動をとおして、社会人として必要な知識、技術、マナー、そして心豊かな人間性を身に付けた人材を育成してきました。卒業生は幅広い分野で活躍しています。

東日本大震災津波では、この地域でも多くの尊い命が犠牲になり甚大な被害を受けました。現在、三陸沿岸道路の建設、防潮堤の再建、安全な地域づくりなどが進められていますが、これらを担っていくのは工業技術者です。地域の復

興、発展のために、多くの優れた工業技術者が必要とされています。

現在、生徒たちは、ものづくりをとおして社会に貢献したいという夢を実現するため、学習、部活動、ボランティア活動等に日々邁進し、学校生活を明るく生き生きと送っています。

工業技術に興味のある中学生、工業技術を身に付けて地域の発展に貢献したいと考える中学生の皆さん、ぜひ本校の門をたたいてください。生徒・教職員一同、皆さんの入学を待っています。

6 必要経費について

新入生（平成30年度入学生の場合）

- 入学金 5,650 円
 - 一括諸納金・各科教材費 52,841～53,507 円（学科による）
 - 教科書・体育用具 50,848～51,738 円（学科による）
 - 制服購入 男子 56,000 円（内訳：制服上下1、替えズボン1、半袖開襟シャツ2、バッジセット1）
女子 59,430～70,830 円（内訳：ブレザー・ベスト・スカート・ネクタイ各1、バッジセット1）
 - 諸会費（PTA会費・部活動後援費など）
- 口座振替により4月から翌1月までの年10回（1回当たり7,410円（年額74,100円））

7 公立高等学校就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

- (1) 平成26年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。
- (2) この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。
- (3) 一定の所得未満とは、保護者の市町村民税所得割額の合算が30万4,200円未満です。
なお、平成30年7月1日から保護者の県民税・市町村民税所得割の合算額が50万7,000円未満に変更となります。
- (4) 手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度（新制度）について」をご覧ください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm

【参考】県立高校授業料・通信制受講料

全日制（月額）9,900円 定時制（月額）2,700円 通信制（1単位）190円